



地域共生社会におけるボランティアの可能性

社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻

川田 虎男 准教授

【研究分野】 地域福祉、福祉教育・ボランティア学習、社会デザイン

【キーワード】 地域福祉、ボランティア

【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=352kawa>



研究概要

地域共生社会においては、住み慣れた地域で暮らしていくための制度の構築が求められますが、同時に住民同士の支え合いやボランティア等、法制度に拠らない市民・住民の自発性に基づいた地域福祉が重要になります。私自身は、特にボランティア活動の役割に注目しており、「他者への貢献」を通じた活動者自身への影響や変容、また互いに支え合う関係や場づくりにおける要素、支援者のあり方について研究を行っています。

研究紹介

1. 学生のボランティア活動を通じた自己形成と支援方法に関する研究

ボランティア活動では活動の対象者だけでなく、活動者自身にも多様な影響がありますが、特に若者の活動者への影響について研究しています。

2. 「語り」をめぐる福祉教育・ボランティア学習の可能性

福祉教育・ボランティア学習学会の課題別研究として3年間チームで研究してきました。その中でも特に、当事者からの「語り」を聴いた者が「語り継ぎ」を行うプロセスについて研究をしています。

講座テーマ紹介

- ボランティア・市民活動基礎講座
- 住民主体のまちづくりに関連した講座
- ボランティア・市民活動に関わるスキルアップ講座（アイスブレイク体験、ミーティングファシリテーション等）

アピールポイントなど

- ・ 福祉教育・ボランティア学習学会の特任理事を務めています。
- ・ コープみらい×中央共同募金会「子ども・子育て支援助成」審査委員や生活協同組合パルシステム埼玉市民活動支援金運営委員長等、市民の自主的な活動を支える仕組みに関わっています。
- ・ 学生時代のボランティア活動を契機に、住民の自発的な支え合いや自治に関心を持ち、社会福祉協議会、市議会議員、まちづくり系のNPO、大学ボランティアセンタースタッフ等を経験し、それらの現場で感じた課題について実践的研究を行っています。